

東日本大震災発生から1年を迎えるにあたって

2012年3月9日

中央執行委員長 佐藤 正幸

震災から1年が経ちました。改めて、亡くなられた多くの方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、ご家族や友人を亡くされた方々、未だに避難生活を余儀なくされておられる方々に、心よりお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興を心から応援します。

生命保険の役割が見直される機会に

津波や原発事故によって大きな犠牲を伴った東日本大震災は、私たち生保産業で働く者にとって生命保険の重要性のみならず、生命保険をお届けする仕事の役割の重さを改めて認識する機会となりました。あの未曾有の事態の中、営業職員が懸命にお客さまの安否確認や保険金のお支払いに奔走したことに対して、組織内外から大きな評価をいただきました。同じ産業人として大変誇りに思うとともに、日頃から地域と密着した活動があったからこそ、困難な状況の中でも地域への貢献を果すことができたのだと確信しています。

全国25万人の仲間とともに、生保産業の社会的使命の達成をめざす

現地ではまだ、忍耐と努力が続いています。しかし、今、被災地の皆さんは大震災を乗り越えようと、再び歩み始めておられます。

私たち生保労連は、全国25万人組合員の仲間とともに「絆・つながり」を大切にし、被災地の方々を支え、新たな気持ちで生保産業の社会的使命の達成をめざして行くことを宣言します。